

第4回子どもサバイバル教室

防犯青少年育成部会サバイバル教室担当 中川和之

令和2年1月26日(日)午後1時30分より柿の浦集会所大ホールにて、今年度最後の第4回子どもサバイバル教室が開催されました。今回のテーマは「虫はおいしい？昆虫食に挑戦！」としました。ねらいは子どもたちに、

「勇気をもって未知との遭遇を果たし自分の世界を大きく広げてほしい」

「いのちをいただいて自分たちは生きていることを改めて知ってほしい」

「いざというとき生き抜くために虫も食べられるようになってほしい」

というものです。

今回は東京から昆虫料理研究家の内山昭一先生をお招きしてお話と調理、試食を指導していただきました。内山先生は朝日放送の人気テレビ番組「探偵！ナイトスクープ」で昆虫食担当？としておなじみの方です。

最初のお話は写真を使って何の虫料理か当てるクイズや先生が開催されているイベントの写真での紹介、被災した時の非常食としての昆虫、食材としての昆虫が普段食べているもので何に味が似ているかなど、子どもも大人も惹きつけられる内容で、子どもたちと会話のキャッチボールをしながらお話を進めていただきました。

次に参加者(子ども18人、保護者10人、役員ほか7人で合計35人)が6つの班に分かれ、それぞれ一品ずつ昆虫の調理を行いました。メニューは、

- ヤゴとタケムシのかき揚げ
- セミ成虫のから揚げ
- ちくわのカイコさなぎ添え
- スズメバチの子のバター炒め
- イナゴ佃煮のクラッカーのせ
- アゲハ蝶のフンのお茶

の6品でした。子どもさんはワイワイ楽しみながら、保護者の皆さんはスマホで写真を撮りながら悲鳴と笑い声の絶えない調理でした。

最後に試食です！子どもも大人もあちこちで「おいしい！」「うまい！」という声をあげていました。教室開始前に「たぶんたべられないとおもいます」と言っていた女の子が「これすごくおいしいのよ！」と言い寄ってきてくれたのを目の当たりにし、私は感動で泣きそうになりました。

内山先生とのすばらしいご縁にも恵まれましたので、今後も昆虫食は教室の定番イベントとして可能な限り開催できればと思います。バスを貸し切って山へ出かけ、虫取りと食用野草を摘んでご飯を炊いてその場で調理して食べたら面白いだろうなあと考えています。こんな虫を食べてみたい、こんなふうに教室をやってほしいという声がありましたらぜひ提案してください。また今回参加できなかったみなさん！次回の昆虫食開催の際はぜひ参加してください！

最後に内山先生、ご参加の皆様、ご協力いただいた皆様、教室を盛り上げていただきありがとうございました。